

平成30年版

2018

年 報

Annual Report



国立研究開発法人 森林研究・整備機構

森林総合研究所林木育種センター

森林総合研究所森林バイオ研究センター

表紙写真の説明

より強い抵抗性 クロマツ

より病原力の高い線虫の活用等により、より強いマツノザイセンチュウ抵抗性品種のクロマツを開発しました。

メリアの人工交配試験

ケニアの技術協力プロジェクトにおいて、乾燥に強く成長に優れた品種を開発するため、共同で人工交配の研究を行いました。

配布する苗木の育成

開発された優良品種等の種苗（さし木、つぎ木、穂木）について、計画的な生産と適期配布に努めました。

組織培養で増殖したワダツミノキのクローン苗

鹿児島県奄美大島に固有の絶滅危惧種であり、枝などに抗がん剤の原料となるカンプトテシンを含有するワダツミノキについて、クローン苗の育成に成功しました。

コウヨウザンの優良系統の選定

新たな需要が期待できるコウヨウザンについて、成長や材質に優れた22クローンを優良系統として選定しました。

**国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所林木育種センター
(英名表記)**

Forestry and Forest Products Research Institute
Forest Tree Breeding Center

**国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所森林バイオ研究センター
(英名表記)**

Forestry and Forest Products Research Institute
Forest Bio-Research Center